アンケート回答数1,138名

〇エリア分けの詳細と回答人数　(※エリアは現在の居住地で分けています)

北海道(29名)　　北海道

東北(72名)　　青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県

福島県(325名)　　福島県のみ浜通り、中通り、会津の3つに分けています

関東(431名)　　茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部(94名)　　新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、長野県、山梨県、静岡県、愛知県

近畿(75名)　　三重県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県

中国・四国(30名)　　岡山県、広島県、山口県、鳥取県、島根県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県

九州(32名)　　福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

福島→県外(19名)　　震災当時は福島県内に在住、現在は福島県外に在住

県外→福島(18名)　　震災当時は福島県外に在住、現在は福島県内に在住

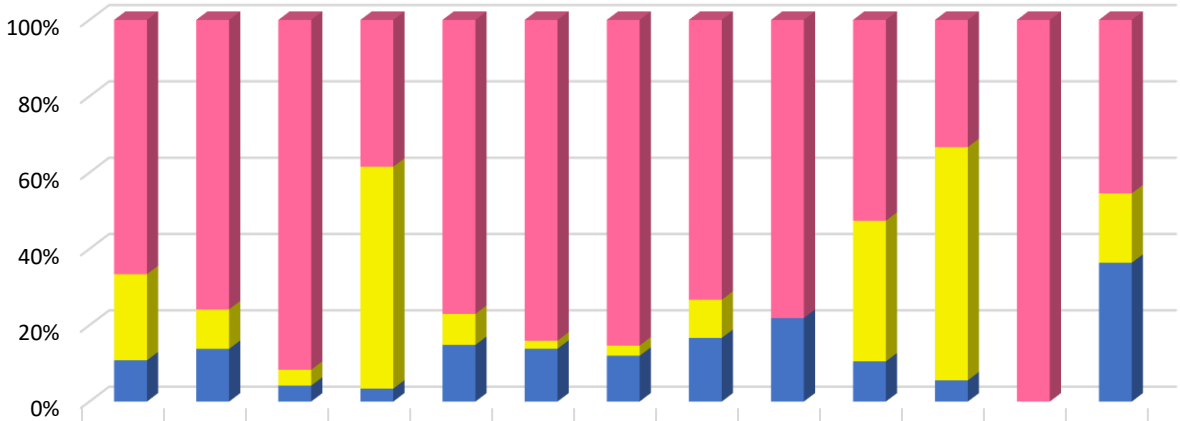
海外→県外(2名)　　震災当時は海外に在住、現在は福島県外に在住

地域不明(11名)　　居住地の記載無し

※回答者からのコメントは記載通りに掲載しています

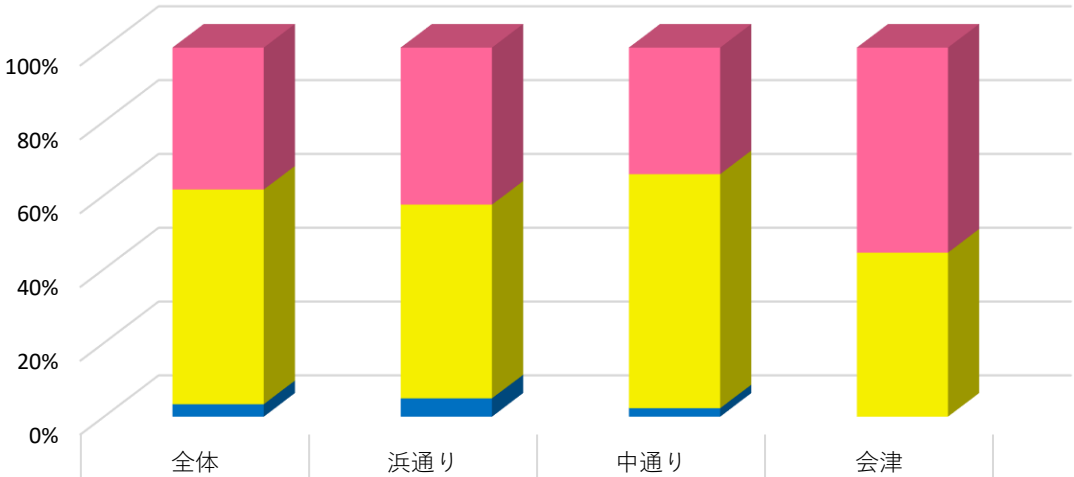
※回答項目以外の回答やコメントは「その他」として掲載しています

Q29. 福島原発事故によるケアのための保養や自然体験活動にあなたやあなたのお子さんが参加したことがありますか。「場所は？」「回数は？」



	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外→県外	不明
参加したことがない	758	22	66	125	332	79	64	22	25	10	6	2	5
参加したことがある	257	3	3	189	35	2	2	3	0	7	11	0	2
無回答	123	4	3	11	64	13	9	5	7	2	1	0	4
合計	1138	29	72	325	431	94	75	30	32	19	18	2	11

【福島県の内訳】



	全体	浜通り	中通り	会津
参加したことがない	125	60	60	5
参加したことがある	189	74	111	4
無回答	11	7	4	0
合計	325	141	175	9

【中通り】
・長女が楢葉町の子ども達のボランティアに参加したことがある

「参加したことがある」と答えた方の参加した場所

横軸→回答者の現在の居住地　　縦軸→保養に参加した地域

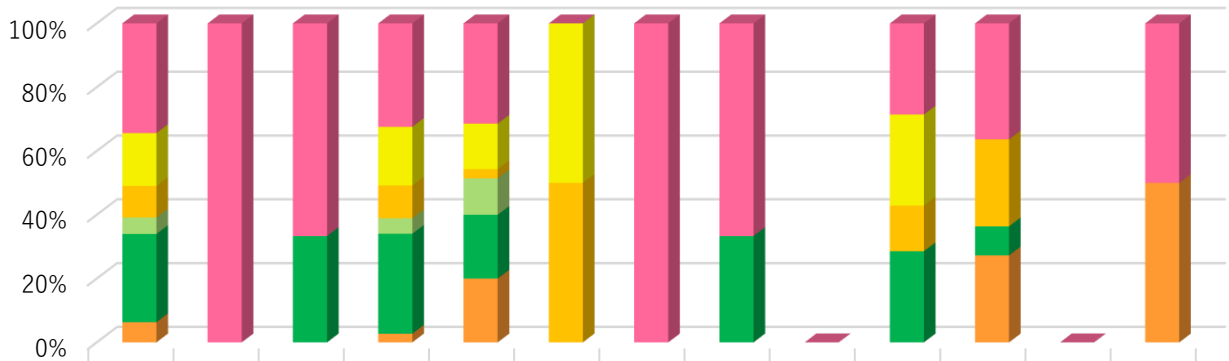
	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国 四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外→県外	不明
沖縄県	58			44	3					2	7		2
北海道	17	2		9	5						1		
長野県	17			11	4					1	1		
新潟県	9	1		7							1		
山梨県	8			6	2								
イタリア	7			4	1					1	1		
大阪府	6			1	3		1			1			
京都府	6			3	2					1			
福島県	6			4	2								
東京都	6			4	2								
山形県	6			5							1		
神奈川県	6			5						1			
石川県	5			1	2	1					1		
岐阜県	5			3	1					1			
広島県	4			1	1			2					
岡山県	4			1	2					1			
宮城県	4		1	2				1					
埼玉県	4			4									
兵庫県	3			1	1		1						
三重県	3			2	1								
青森県	3		1	2									
福井県	3			3									
香川県	3			2	1								
愛知県	3			2	1								
福岡県	3			2							1		
韓国	2									1	1		
岩手県	2			1	1								
千葉県	2			1	1								
山口県	2			2									
シンガポール	2			2									
ハワイ	2			1						1			
徳島県	2			1	1								
静岡県	2			2									
滋賀県	1				1								
秋田県	1			1									
熊本県	1				1								
富山県	1			1									
西日本	1				1								
栃木県	1			1									
長崎県	1			1									
鹿児島県	1			1									
ドイツ	1			1									
その他	1		1										

「参加したことがある」と答えた方の参加した場所

【福島県の内訳】 横軸→回答者の現在の居住地　　縦軸→保養に参加した地域

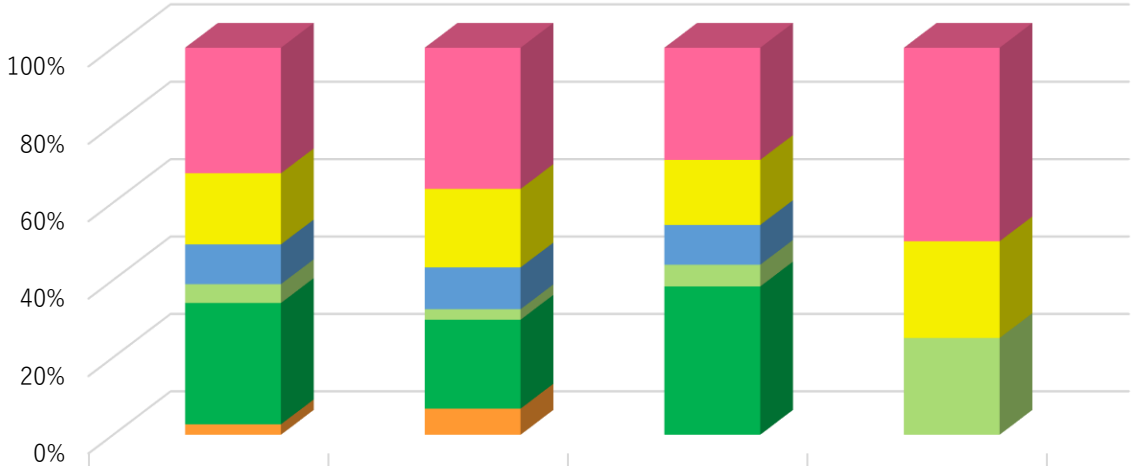
	全体	浜通り	中通り	会津
沖縄県	44	39	3	2
長野県	11	10	1	
北海道	9	7	1	1
新潟県	7	4	2	1
山梨県	6	4	2	
山形県	5	3	2	
神奈川県	5	2	3	
福島県	4		3	1
埼玉県	4	2	2	
東京都	4	1	3	
イタリア	4	2	1	1
京都府	3	1	2	
福井県	3	2	1	
岐阜県	3	1	2	
宮崎県	3	2	1	
その他	3	1	2	
青森県	2	1	1	
宮城県	2	1	1	
静岡県	2	2		
愛知県	2		2	
三重県	2	1	1	
山口県	2	1	1	
香川県	2	2		
福岡県	2	2		
シンガポール	2	2		
兵庫県	1		1	
岡山県	1	1		
岩手県	1		1	
秋田県	1		1	
栃木県	1		1	
千葉県	1		1	
富山県	1	1		
石川県	1		1	
広島県	1		1	
徳島県	1		1	
長崎県	1		1	
熊本県	1		1	
鹿児島県	1		1	
大阪府	1		1	
ドイツ	1		1	
ハワイ	1		1	

「参加したことがある」と答えた方の参加した回数



	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外→県外	不明
1回	87	3	2	60	11	0	2	2	0	2	4	0	1
2回	42	0	0	34	5	1	0	0	0	2	0	0	0
3回	25	0	0	19	1	1	0	0	0	1	3	0	0
4回	13	0	0	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0
5回以上	70	0	1	58	7	0	0	1	0	2	1	0	0
無回答	16	0	0	5	7	0	0	0	0	0	3	0	1

【福島県の内訳】



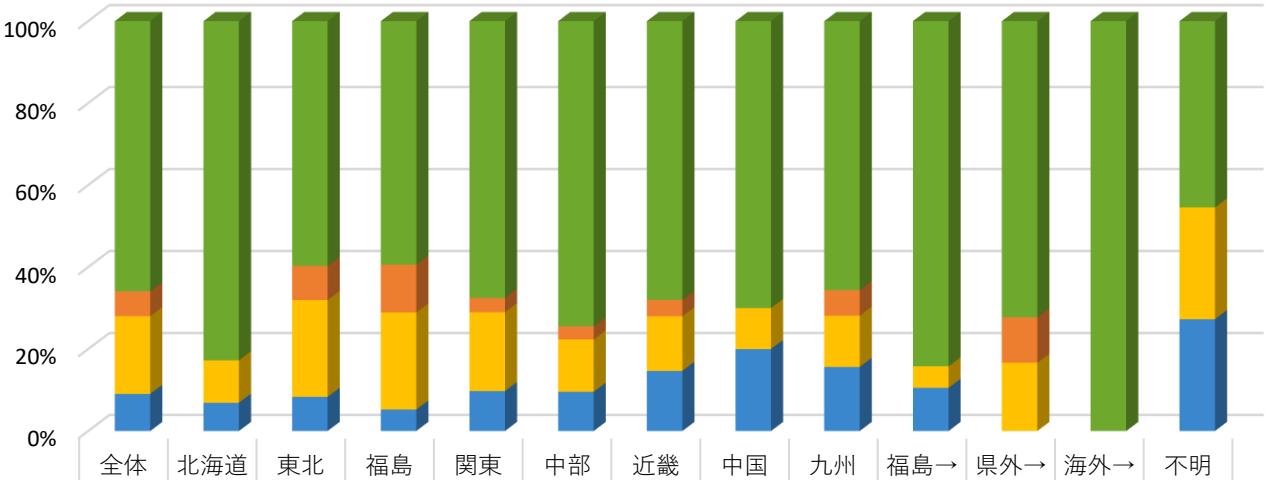
	全体	浜通り	中通り	会津
1回	60	27	31	2
2回	34	15	18	1
3回	19	8	11	0
4回	9	2	6	1
5回以上	58	17	41	0
無回答	5	5	0	0

【関東】
参加したことがない
・ボランティアでケアする側になったことはある
・保養をもう少し具体的に。意味がわかりにくい
・子どもがいないので無回答にします
・孫
参加したことがある
・支援スタッフとして参加　東京と藤沢　11〜12回
・ボランティアとして福岡、長崎、広島　3〜5回
・徳島、長野、回数は10回
・和歌山、四国（自分で企画実行している）
・大磯で保養を企画
・ボランティア
・世田谷（ボランティア）
・主催しています。南房総市
その他
・子どもなし　3名
・寄付のみ
・この子ども保養のアンケートは子ども対象ではありません

【中部】
・今でも放射能汚染の高い地域がある。そこに住む子どもには絶対必要。

【近畿】
・独身で子どもがありません
・福島から来られた親子に対して、アートワークショップをしてみんなで楽しみました。

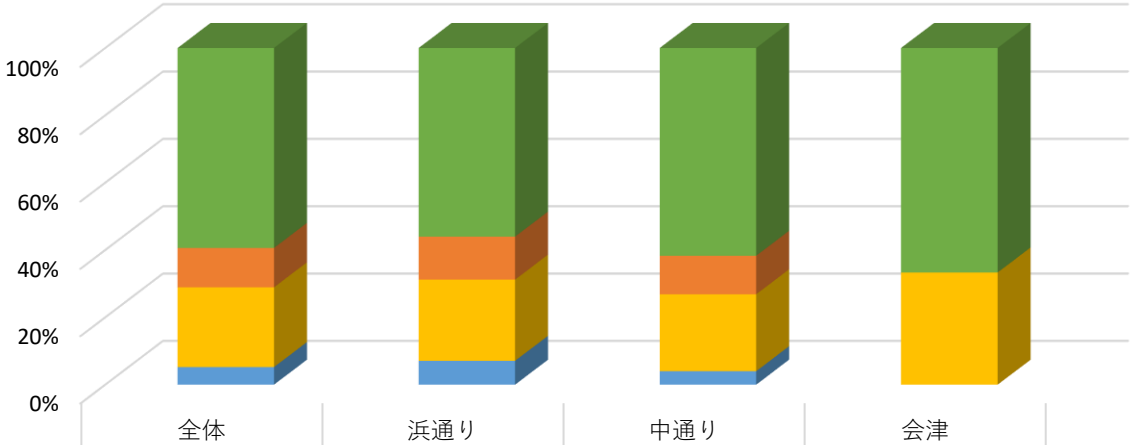
Q30. 今後も子どもたちの保養は必要だと思いますか。



	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国 四国	九州	福島→ 県外	県外→ 福島	海外→ 県外	不明
はい	750	24	43	193	291	70	51	21	21	16	13	2	5
いいえ	69	0	6	38	15	3	3	0	2	0	2	0	0
よくわからない	216	3	17	77	83	12	10	3	4	1	3	0	3
無回答	103	2	6	17	42	9	11	6	5	2	0	0	3

合計	1138	29	72	325	431	94	75	30	32	19	18	2	11

【福島県の内訳】



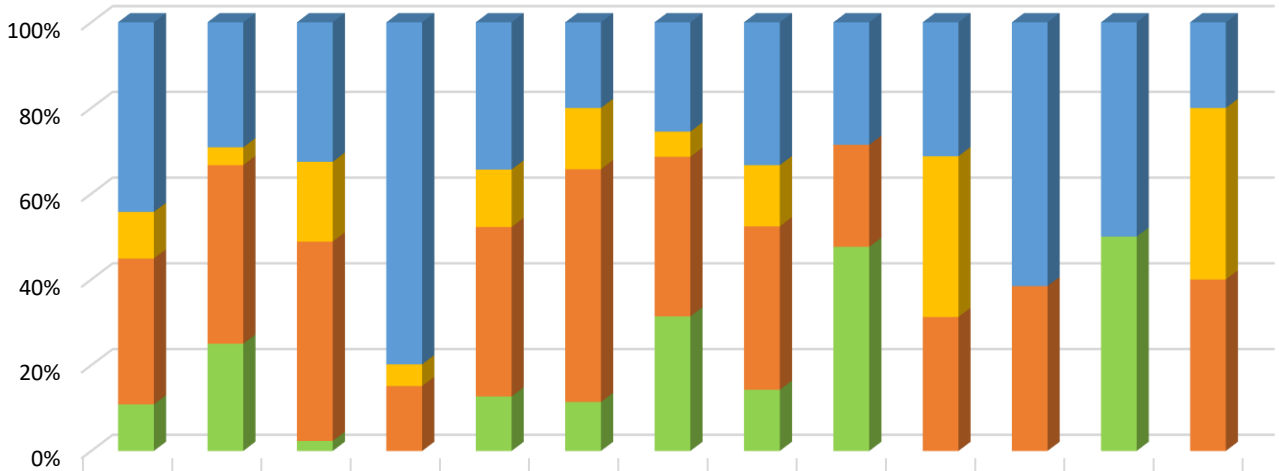
	全体	浜通り	中通り	会津
はい	193	79	108	6
いいえ	38	18	20	0
よくわからない	77	34	40	3
無回答	17	10	7	0

合計	325	141	175	9

【浜通り】
いいえ
・保養は不要、体験活動は必要
その他
・有だろうが、受けられる人に限りがある

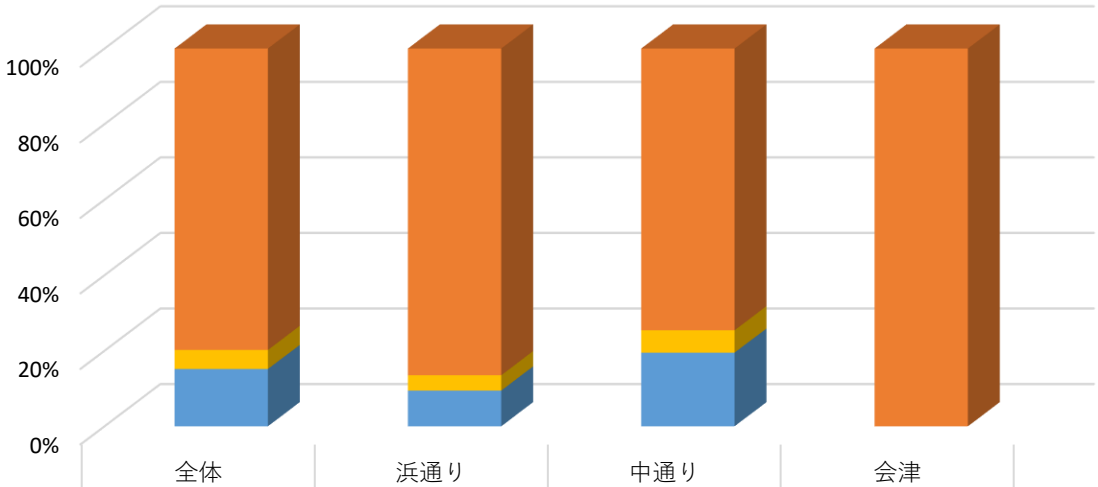
【関東】
はい
・絶対！　この子ども達というのは自分の子どもではなく福島の子ども達です
・子どもが大きなって忙しくなっているので参加は難しい
・汚染の強い地域の子ども
・該当地域の子どもには必要
よくわからない
・対象者がいない　2名
その他
・松本に疎開していたこども達には支援していました

Q31.「はい」と答えた方にお聞きします。
保養や自然体験活動に参加費がかかっても参加を希望しますか。
※「はい」以外の回答をした方も記載があったので、そのまま集計しています



	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外→県外	不明
はい	334	7	14	158	100	14	13	7	6	5	8	1	1
いいえ	82	1	8	10	39	10	3	3	0	6	0	0	2
よくわからない	257	10	20	30	115	38	19	8	5	5	5	0	2
無回答	82	6	1	0	37	8	16	3	10	0	0	1	0
合計	755	24	43	198	291	70	51	21	21	16	13	2	5

【福島県の内訳】



	全体	浜通り	中通り	会津
はい	158	64	88	6
いいえ	10	3	7	0
よくわからない	30	7	23	0
無回答	0	0	0	0
合計	198	74	118	6

保養や自然体験活動の参加費の金額　（～円ぐらいなら…）

横軸→回答者の現在の居住地　　縦軸→参加費の金額

	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国 四国	九州	福島→ 県外	県外→ 福島	海外→ 県外	不明
無料	2			1	1								
500円	4		1	3									
1,000円	9			4	4				1				
1,500円	1				1								
2,000円	10			3	6			1					
3,000円	14	1		4	5	1	2				1		
5,000円	34	1	5	18	4	1	2	1		1	1		
5,000円～10,000円	8			7					1				
10,000円	75		2	46	15	3	3	1	2		1	1	1
10,000円～15,000円	1			1									
10,000円～20,000円	2			1						1			
15,000円	2			2									
20,000円	18			14	1	1		1			1		
20,000円～30,000円	9			9									
30,000円	18		1	10	4						3		
30,000円～50,000円	3			3									
50,000円	6			6									
100,000円	3			1						2			
いくらでも	1			1									
場所や日数による	2			1						1			
必要な分	1			1									
公的負担で行うべき	1	1											
1日1,000円	1				1								
1日3,000円	1		1										
1日5,000円	1				1								
宿泊費の半値	1				1								
不明	1				1								

保養や自然体験活動の参加費の金額　（～円ぐらいなら…）

【福島県の内訳】　横軸→回答者の現在の居住地　　縦軸→参加費の金額

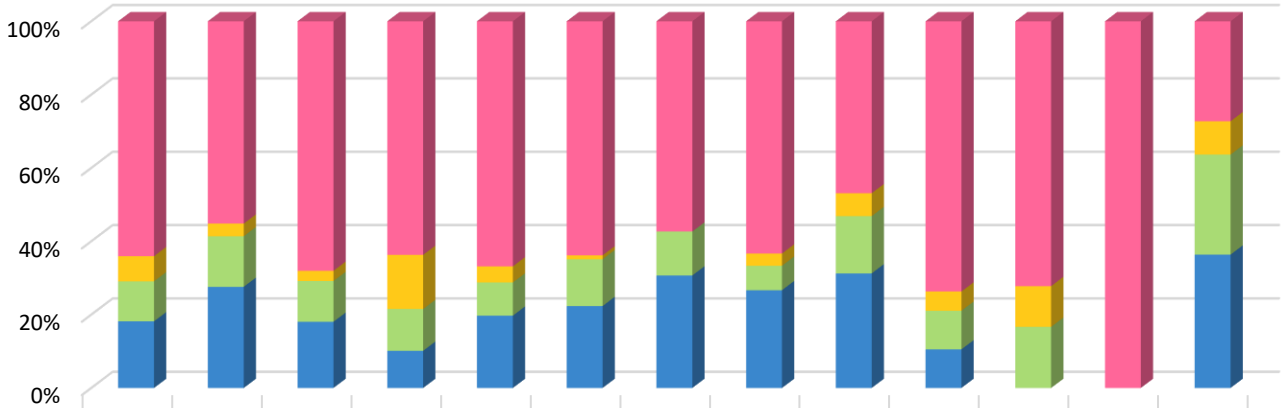
	全体	浜通り	中通り	会津
無料	1	1		
500円	3	2	1	
1,000円	4		4	
2,000円	3		3	
3,000円	4	2	2	
5,000円	18	6	12	
5,000円～10,000円	7	4	3	
10,000円	46	21	22	3
10,000円～15,000円	1	1		
10,000円～20,000円	1	1		
15,000円	2		2	
20,000円	14	2	10	2
20,000円～30,000円	9	6	3	
30,000円	10	5	5	
30,000円～50,000円	3		3	
50,000円	6	2	4	
100,000円	1	1		
いくらでも	1		1	
場所や日数による	1		1	
必要な分	1		1	

【北海道】
・公的負担で行うべき

【浜通り】
はい
・米の兼業できなくなり、収入が下がった為苦しい
その他
・本来、東電が支出すべき

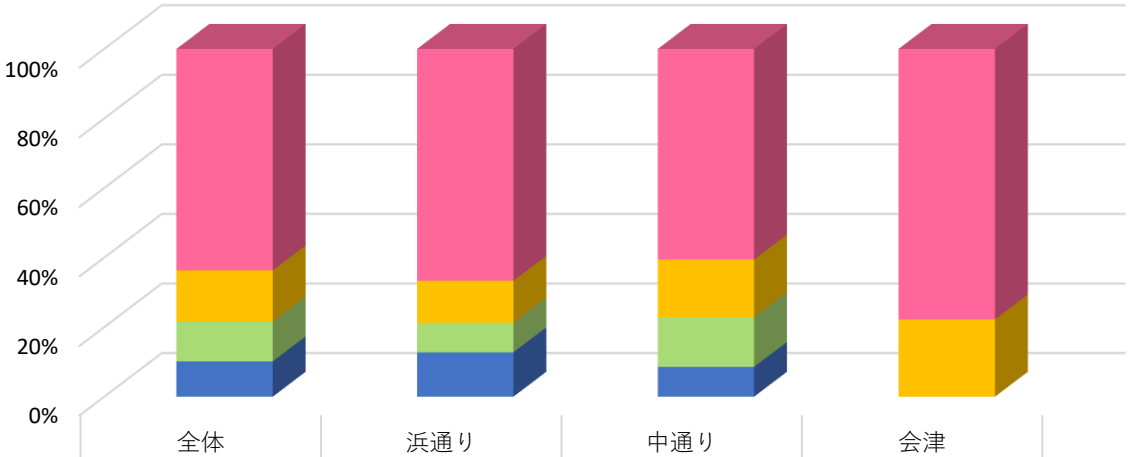
【関東】
いいえ
・国が負担すべき
・もっと必要な子どもが優先だと思うので
・保養より体が？
・私の子どもは大人になっている
・自治体で行うべきではないでしょうか。
よくわからない
・保養は必要だから費用は公的な所から出すべき
・子どもたちが成人しているので
・丈夫か尿数値などして欲しい
・参加当事者ではないので
・血液検査で異常が発見されたから
・子どもがおりません
その他
・私は参加しないが、カンパする
・なるべく費用は助成してやっていただきたい
・私自身が保養というより保養の必要な方には無料で(公費で)やれるようになってほしい
・活動を希望する子どもたちの参加を支援したいと思う
・保養が必要な方たちのために必要
・カンパします
・本人が70代、子世代は40代！
・公費が望ましい
・子どもがいない
・自分の子どもはいないが、保養にはわずかでも寄付したい
・友人が保養ボラ継続して欲しいです
・私の子どもは大きくなり、行くことも嫌がっていたが本来すべきだと思う
・現在地域の小さな子どもはない

Q32. 保養や自然体験活動の実施場所の汚染や放射線量は気になりますか。



	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外→県外	不明
気になる	729	16	49	207	288	60	43	19	15	14	13	2	3
気にしない	78	1	2	48	19	1	0	1	2	1	2	0	1
よくわからない	124	4	8	37	39	12	9	2	5	2	3	0	3
無回答	207	8	13	33	85	21	23	8	10	2	0	0	4
合計	1138	29	72	325	431	94	75	30	32	19	18	2	11

【福島県の内訳】



	全体	浜通り	中通り	会津
気になる	207	94	106	7
気にしない	48	17	29	2
よくわからない	37	12	25	0
無回答	33	18	15	0
合計	325	141	175	9

【浜通り】
気にしない
・福島県周辺でなければOK。費用を考えれば近でも可。(人数が多いほうがよりよい)

【会津地方】
気になる
・安全な所を考えてくれていると思うので
気にしない
・あまり気にしないが、線量が低い所にこしたことはないと思う。(県内でも会津などの低い所でも良いと思うが)

【関東】
気にしない
・国が動かないので気にしても仕方ない
その他
・保養の意味を考えると当然

Q33. 保養や自然体験活動の実施場所にはどこがふさわしいと思いますか。
※都道府県順
横軸→回答者の現在の居住地　　縦軸→保養や自然体験活動の実施場所にふさわしい場所）

保養の場所	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国 四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外→県外	不明
北海道	381	20	18	149	133	19	12	4	4	7	12	2	1
青森県	59	1	6	28	16	4	1	0	0	0	2	0	1
岩手県	56	0	5	28	16	3	2	0	0	0	1	0	1
宮城県	26	0	5	9	6	2	3	0	0	0	1	0	0
秋田県	65	1	10	27	19	4	1	0	1	0	1	0	1
山形県	48	2	5	24	12	3	1	0	0	0	1	0	0
福島県	27	0	4	8	11	0	2	1	1	0	0	0	0
茨城県	16	0	2	4	8	0	0	0	0	0	1	0	1
栃木県	18	0	2	5	9	0	1	0	0	0	1	0	0
群馬県	16	0	0	6	7	1	1	0	0	0	1	0	0
埼玉県	12	0	0	6	5	0	0	0	0	0	1	0	0
千葉県	18	0	0	5	11	0	0	0	0	0	1	0	1
東京都	14	0	0	6	6	0	1	0	0	0	1	0	0
神奈川県	15	0	0	8	6	0	0	0	0	0	1	0	0
新潟県	69	0	6	35	17	2	3	0	3	1	2	0	0
富山県	98	0	6	32	36	11	2	0	3	2	6	0	0
石川県	98	0	4	31	31	15	6	0	3	2	6	0	0
福井県	76	0	3	32	20	8	3	0	3	2	5	0	0
山梨県	62	1	1	25	21	3	1	0	3	2	5	0	0
長野県	166	2	8	45	72	17	8	1	5	2	5	1	0
岐阜県	98	0	3	31	37	13	4	0	3	2	5	0	0
静岡県	58	0	1	22	20	2	2	1	3	2	5	0	0
愛知県	70	0	1	27	19	8	5	0	3	2	5	0	0
三重県	122	0	6	41	43	15	5	0	3	5	4	0	0
滋賀県	114	0	5	41	35	14	7	0	3	5	4	0	0
京都府	113	0	5	43	32	14	7	0	3	5	4	0	0
大坂府	113	0	5	44	33	13	5	1	3	5	4	0	0
兵庫県	123	1	6	43	35	15	11	0	3	5	4	0	0
奈良県	132	0	7	44	46	16	6	0	4	5	4	0	0
和歌山県	147	3	6	44	54	18	6	2	5	5	4	0	0
鳥取県	160	2	7	48	51	20	8	4	7	8	5	0	0
島根県	158	2	6	51	49	19	7	5	7	7	5	0	0
岡山県	166	3	5	52	54	18	9	5	8	7	5	0	0
広島県	165	3	5	54	54	18	7	5	7	7	5	0	0
山口県	154	2	6	53	45	18	6	5	7	7	5	0	0
徳島県	194	2	6	66	68	20	9	4	7	7	5	0	0
香川県	197	3	6	66	69	20	8	5	7	8	5	0	0
愛媛県	196	2	6	66	67	21	10	3	8	8	5	0	0
高知県	208	2	7	69	75	21	10	4	7	8	5	0	0
福岡県	251	5	9	88	81	23	14	3	12	8	7	1	0
佐賀県	247	5	9	87	80	23	13	3	12	7	7	1	0
長崎県	258	5	10	89	86	24	14	3	12	7	7	1	0
熊本県	261	6	11	90	84	24	16	2	13	7	7	1	0
大分県	258	5	9	90	85	23	15	2	13	7	7	1	1
宮崎県	268	5	9	93	90	24	17	2	12	7	7	1	1
鹿児島県	269	4	9	94	91	28	12	3	12	7	7	1	1
沖縄県	403	7	12	160	135	26	19	8	12	6	12	2	4

【福島県の内訳】

※都道府県順

横軸→回答者の現在の居住地　　縦軸→保養や自然体験活動の実施場所にふさわしい場所)

	全体	浜通り	中通り	会津
北海道	149	60	86	3
青森県	28	11	17	0
岩手県	28	7	21	0
宮城県	9	1	8	0
秋田県	27	7	20	0
山形県	24	6	18	0
福島県	8	4	4	0
茨城県	4	1	3	0
栃木県	5	1	4	0
群馬県	6	1	5	0
埼玉県	6	2	4	0
千葉県	5	1	4	0
東京都	6	1	5	0
神奈川県	8	3	5	0
新潟県	35	9	26	0
富山県	32	11	21	0
石川県	31	12	19	0
福井県	32	13	19	0
山梨県	25	10	15	0
長野県	45	16	29	0
岐阜県	31	11	20	0
静岡県	22	8	14	0
愛知県	27	11	16	0
三重県	41	17	24	0
滋賀県	41	16	25	0
京都府	43	17	26	0
大坂府	44	17	27	0
兵庫県	43	17	26	0
奈良県	44	17	27	0
和歌山県	44	17	27	0
鳥取県	48	21	27	0
島根県	51	22	29	0
岡山県	52	21	31	0
広島県	54	22	32	0
山口県	53	22	31	0
徳島県	66	27	39	0
香川県	66	27	39	0
愛媛県	66	28	38	0
高知県	69	29	40	0
福岡県	88	33	53	2
佐賀県	87	33	52	2
長崎県	89	34	53	2
熊本県	90	34	54	2
大分県	90	34	54	2
宮崎県	93	37	54	2
鹿児島県	94	38	54	2
沖縄県	160	73	83	4

【会津地方】
・汚染の少ない所
・放射線量の低い所ならどこでも良いと思う

【関東】
・温泉地で汚染が少ない土地
・福島から遠くない所で線量が低い所
・久米島は良いですね
・自然体験活動を具体的に内容がわからない。地域も選びにくいのでは
・コロナの状況による。寄付しているプロジェクトは猪苗代で再開
・今はコロナの事もあるので何処とは言いにくい
・なるべく西の地方、川崎でもやっているので支援しています

【中部】
・表紙の予測図を元に値の低い場所、地域が望ましいと考えます
・コロナを考えるとまだどこも難しい
・放射能、コロナと日々心配事は多いがあきらめず精神を強く明るく生きたいし生きてほしい

【近畿】
・自分の子どもには必要ないが、福島の子ども達には必要性の高い物だと考えます。2012年8月私が企画し、（アミンティ2000協会主催）いわきに避難していた高校生・明星大学生の計5人を招待して神戸ワーキングホリデイの1週間を行った。神戸の学生達と交流。

【県外→福島】
・福島県周辺でなければOK！　費用考えれば近でも可（人数が多い方がよりよい！）　本来、国あるいは東電が費用を支出すべき
・今はコロナがあるのでよくわかりません

【地域不明】
・保養より引っ越し！

Q34. 保養や自然体験活動に求める成果はなんですか。複数選択可

※福島県内在住の方のアンケートのみ③の回答が「みんなが行くから」という選択肢になっています

①被曝の軽減
②精神的成長
③将来のための体験/みんなが行くから
④のびのびとした自然体験
⑤その他

横軸→回答者の現在の居住地域　　縦軸→回答項目

	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国・四国	九州	福島県→県外	県外→福島県	海外→県外	地域不明
無回答	160	1	11	29	71	13	18	6	7	1			3
1	67	1	5	20	32	3	3		2	1			
1,2	49	2	2	17	17	3	1	2	2	1	1		1
1,2,3	4		1		3								
1,2,3,4	94	7	3	1	43	14	13	5	2	3		1	2
1,2,4	111	1	2	63	26	5	4	2		2	6		
1,2,4,5	1										1		
1.2.5	2				1					1			
1,2,3,4,5	12	1			7	1		2	1				
1,3	8		2		4		1	1					
1,3,4	6				3			1	2				
1,3,4,5	1									1			
1,4	112	4	3	27	44	20	7	2	2	3			
1,5	2			1		1							
2	62	1	6	27	16	4	4	1			3		
2,3	8	1	2		2			1	2				
2,3,4	49	2	5	1	21	8	4		5	3			
2,3,4,5	1				1								
2,4	148	2	6	81	38	5	9	1	1	1	4		
2,4,5	2				1			1					
3	26		8		15	1	2						
3,4	19		1		14	2	1	1					
3,4,5	1				1								
4	182	5	15	57	64	13	8	4	5	2	3	1	5
4.5	3				1	1			1				
5	8	1		1	6								
合計	1138	29	72	325	431	94	75	30	32	19	18	2	11

【福島県の内訳】

※福島県内在住の方のアンケートのみ③の回答が「みんなが行くから」という選択肢になっています

①被曝の軽減
②精神的成長
③将来のための体験/みんなが行くから
④のびのびとした自然体験
⑤その他

横軸→回答者の現在の居住地域　　縦軸→回答項目

	全体	浜通り	中通り	会津地方
無回答	29	17	11	1
1	20	7	12	1
1,2	17	5	12	
1,2,3				
1,2,3,4	1		1	
1,2,4	63	27	34	2
1,2,4,5				
1.2.5				
1,2,3,4,5				
1,3				
1,3,4				
1,3,4,5				
1,4	27	12	15	
1,5	1	1		
2	27	13	14	
2,3				
2,3,4	1	1		
2,3,4,5				
2,4	81	35	43	3
2,4,5				
3				
3,4				
3,4,5				
4	57	22	33	2
4.5				
5	1	1		
合計	325	141	175	9

【北海道】
・精神的ケア
・転地療養の観点もあってよいのでは

【浜通り】
・今は保養の必要を感じない

【中通り】
・精神的健康保持
・QOLの向上
・交流
・心の解放

【関東】
・人間交流
・島
・4歳6歳小さい頃に放射能あり、外で大切な時期に自然のふれあいをさせられなかった。そのことを今更でも学び直す事で心豊かな子を…
・不安の解消
・中国山、地山梨県、ラジウム温泉、ウラン鉱山跡にも自然はあり放射能に対する正しい知識を持ってもらう
・地元を離れた視点
・プラスとして体験を風化しないための学習かな？
・ストレスから解放
・自然の大切さを学ぶ
・人との出会い、苦労の分かち合い
・心身のリラックス
・人との出会い気分転換
・分かりません
・休息
・被曝批判の機会
・専門家の意見を聞くべき
・友人をつくる
・他者や関心のある県外の人々とのつながり

【中部】
・こころのケア　2名

【中国・四国】
・遠方の人とのつながり
・不安感なく過ごす
・大人への信頼

【九州】
・相互理解
・他人への思いやり
・健康な心
・知識ではない五感の学び
・安心感

【福島→県外】
・心の解放
・生きる場所は様々あることに気づける

【県外→福島】
・①精神的ストレス、②データとしても重要③内部被曝

Q35. コロナウイルスの感染が拡大しています。その状況の中での保養参加についてどうお考えですか。複数選択可

①安全対策が出来ていれば参加させる
②実施場所や移動手段により参加させる
③参加人数やプログラムにより参加させる
④まだ参加させたくない

横軸→回答者の現在の居住地域　　縦軸→回答項目

	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国・四国	九州	福島県→県外	県外→福島県	海外→県外	地域不明
無回答	310	12	18	42	141	30	33	13	12	3	1		5
1	257	10	14	63	102	23	20	8	6	5	4	1	1
1,2	30	1	2	10	12	3	1				1		
1,3	15			7	4	1		1	2				
1,2,3	69		3	24	24	7	3	2	4	1	1		
1,4	2			1			1						
2	67	1	5	22	19	8	8	2	2				
2,3	25		1	9	9	2			1	1	2		
2,4	2			1				1					
3	61	1	1	14	28	6	6		2	1			2
3,4	3			1	2								
4	297	4	28	131	90	14	3	3	3	8	9	1	3
合計	1138	29	72	325	431	94	75	30	32	19	18	2	11

【福島県の内訳】　横軸→回答者の現在の居住地域　　縦軸→回答項目

	全体	浜通り	中通り	会津地方
無回答	42	26	15	1
1	63	23	36	4
1,2	10	3	7	
1,3	7	4	3	
1,2,3	24	9	14	1
1,4	1			1
2	22	11	11	
2,3	9	5	4	
2,4	1	1		
3	14	6	8	
3,4	1		1	
4	131	53	76	2
合計	325	141	175	9

【浜通り】
・感染状況の少ない所で
・今は外出するべきではないと感じている
・コロナの間は密室のような保養は参加したいとは思わない
・参加したい、させたい気持ちは大いにありますが、高齢者と同居している為、今は難しいのかな…と
・今現在、すぐに参加というのは難しい状況と考えている
・都心ではなく、人口の少ない所で対策をしっかりとしていただけるなら参加させたいです
・感染が広がっている地域(時期)には行きたくない
・終息してから
・まだ不安です
・保養の数がずい分減っていて、開催してほしい
・日本中で拡大しているので今は保養参加については考えていない
・受け入れて下さる地域の方々の理解があれば参加したいです

【中通り】
・ひかえた方がよい

【関東】
安全対策が出来ていれば参加させる
・安全対策ができていればよい事です
・事前に必ずPCR検査
・参加させてあげたい
まだ参加させたくない
・子どもがおりませんので責任ある回答が選択できません、自分が行くことを仮定すればまだ参加させたくないです
その他
・難しい
・子どもがいない　2名
・(質問)35の拡大している⇒愚問　参加する参加させるの問いは？です。コロナウイルスの拡大中は参加しないもしくは自粛。主催する方が問題。何故そのような時に集団で集まる
・母親（妻）と子供2人（高3）（中3）は京都に自主避難しています。もうすぐ10年
・対象者がいない
・必要性を感じない
・コロナは全く気にしない
・対象者がいない
・アメリカでも大体100人の80歳が感染して薬がないから1人死ぬ。日本では10代1人も死んでいない。第一波の時より日本は資源が少ない。アメリカも他国でも感染者が爆発的に増えているのに死者数ほぼ変わらず、そんな安全なただの風邪を心配していない。ワクチンをすっ飛ばしたものは打ちたくない。
・コロナウイルスが実際どうなのか？　今までのインフルエンザと比較して。

【中部】
・正しく恐れ正しく対処する
・長距離の移動そのものが規制されている時期はやむをえないが、なるべく人口の少ない自然の豊かなところで続けるのが良い

【近畿】
・我が子・孫を参加させるつもりはないが、福島の子ども達も（被害に遭った）大きくなっているのではないか。コロナの今、特に無理に実施しなくてもよいのではないか。
・コロナより放射線

【九州】
・感染拡大中なので移動はできない

【福島→県外】
・しばらく様子を見てから再開
・子どもは成人している
・他人にコロナを拡大させる可能性あり躊躇します

【県外→福島】
・不用意にすると反対する人間に難くせの理由にされる点もある
・今の状況下では控えた方がいいと思う
・今は行くべきではない
・今は控えたほうが良いかと思う

Q.36　その他、何かお気づきのことがありましたらお書きください。

【北海道】
・近場で検討
・過密にならない状況で
・社会不安の中、集団活動でのストレスがあれば家族、少人数単位の転地スティや自主生活も
・福島の皆さまの今も続くご苦労、ご心労いかがばかりかと思います。私の家は北海道ですが宮城船団でしたので震災で大型船は廃業しました。汚染水を含め核ごみと呼ばれるものの影響は地球の果てまで及ぶことを思うと慎重にならざる得ないと同時に自分たちを自分たちで守る発信は大切だと感じます。

【東北】
・アンケートに記入しながら、知らないことが多いと感じました。
・首都近辺ではなく災害から守れる場所で表紙の資料で数値が低い所が良いのではないかと思う
・福島に住んでいないから実情はわからない。わからなくて申し訳ないです。
・息子と娘はもう 30 歳代なので放射線の長年にわたる影響が孫に出てくるのではととても不安です
・宮城県白石市越河は福島県との県境なのにあの当時何の保障もなく放射線量は高く不安な日々でした。子どもたちの成長に伴い身体への異常が出ないか心配です。
・二男は小学入学前地震で入学が遅れ、中学卒業前に令和元年東日本台風で床下浸水を体験、入試に響いた。今年はコロナが白石高校で発生で、休校と不運である。
・2012 年 5 月 14 日（友人の家）で採収した土９００㎖容器 EMF２１１型スペクトルメーター。放射性セシウム合算 300.8 Bq/kgでした。
・個別に実施している所との情報交換など連帯は必要ではないか
・スタッフとして開催。ある程度制限して開催したい
・アンケート対象ではなかったかも知れません

【浜通り】
・活動や生活の場は除染などされ放射線量が安全といわれる数値になっている。食の安全も双天と言われているが、少なくても摂り続けることに不安は感じている
・事故後、大人は検査を受けられない事がずっと気にかかっていたので受けられてほっとしました。ありがとうございました。
・たらちねさんからの情報提供はとても役に立つので、今後とも協力させて頂きたいし、応援していますのでご活躍頂きたいと思います。
・子供の学校の友達や現在の近隣の人たちには避難者のことは隠している。子どもがイジメなどにあうのがこわいから。
・日本という国の展退が予想される中、廃炉作業は石棺で終えるだろう。(我々は明日の食物にさえ？する)
・感謝の気持ちです。スタッフさんもお体に気を付けてね！
・期間限定の子どもの保養が今の段階で必要・有効なのかわからない。献金など運用にあたっては他に有効な使い道があるのかもと思う
・あおる情報はよくないと思っていますが。
・小名浜地区に住んでいますが、市の方に庭の土壌線量測定には来てもらえませんでした。あの当時から不安があり、庭の土には子どもたちを触らせられずに成長させてしまいました。小さい頃より砂遊びを知らずに…。とても悔いが残ります。球美の里での体験、子どもたちには良い思い出です。お世話になりました。

【浜通り】つづき
・近所に避難してきた双葉郡の子が多くいます。経済的に格差があり、子どもがバカにされる事もあります。避難＝気の毒とも思いますが、なぜこんな考えなのか、どうにかならなかったのだろうかと思ってしまいます。
・子ども達の保養の為にご尽力頂きありがとうございます。子ども達を保養に預ける事がもし漁業の方々の営業のさまたげになるようでしたら、申し訳なく感じますが、それでも原発があの場所にある限り、子ども達の保養を続けて頂けたら幸いです。
・保養の場所はできるだけ遠くがよいと思っているのですが、今いる場所より少しでも安全な場所ならよいかなぁと思っています。仕事をしていると、どうしても長くは休めないので近くでも数をこなせたほうがよいのかなぁと今は思っています。
・現在においてもこの土地から出たいと思いつつ、経済的保障が得られず、動けないのがつらい毎日です。
・兄弟等で参加を希望した場合はなるべく一緒に参加させたい。
・放射能の被害にあった喉や肺でコロナにかかると他の人より悪くなるのか。
・「保養」は子ども達の自信を失わせ被害感情を育む温床になりかねない。子どもに広い視野と将来への希望、自己有用感を与えるような活動は必須であると思う。
・汚染水の処理方法及び原発のこれからの運用については全国民の問題として考えて欲しい

【中通り】
・今は団体活動はすべきではないと思う
・他の場所に迷惑をかけたくない
・高校生の保養もあったら良いです。
・保養は難しいです。沢山行ってリフレッシュ・沢山遊びました。本当にありがかった。成長して中学生なのでなかなかいけない。震災でつらい思いばかりでしたが保養で助けてもらい感謝しています。心と体のリフレッシュにて今は元気に過ごせていてありがたいです。今年も行く予定でしたがコロナでだめでした。
・子どもが保養に参加出来て良かったです。少しでも被曝が軽減できたことに感謝します。
・コロナ禍の保養は県外に行くだけで近所の目が厳しい。参加するときはひっそりと参加したいし感染防止対策がしっかり確保されていることが重要。
・コロナ禍の状況ではやはり移動することはしない方が良い
・ワクチン接種後は保養をしてもよいと思う。
・保養に行くことで子どもたちの精神的成長が見られた。家の子どもたちも高 1、中 1 になりもう少し保養の機会を提供できればと考えています。
・放射線が目に見えないからと言って政府や県は被害を隠そうとしているのだろう。何がオリンピックだふざけるな！
・できるだけ感染人数が少なめなところなら良いと思います。また、東京などもできる限り移動で使わなくても良い様に東北の日本海側や北陸など
・10 年は過ぎようとしているがこれから生まれてくる子どもたちがどんな状態で生きていけるのか？　これからの原発事故はないのか？　対策はないのか？　不安でたまらない。
・保養は親の決断で決まる、お金に余裕がなければ出せないと思う。学校単位ですべき。保養という言葉は使わず体験学習会。いつものリピーターだけでは万遍なく子どもたちは守れない
・子どもを預ける以上連絡事務等をもう少し細やかにお願いしたい
・行きたいが感染を考えると家で過ごした方が良いかと思う。
・子どもたちの保養参加は当時はとても助かりました。親子ともどものびのび出来た思いがあります。今後も交流が続いてくれるといいと思います

【中通り】つづき
・子どもたち時々鼻血が出ます。頻繁ではないですが、震災後から始まったんです。頸部淋泄節でやや大きめ。検査結果は大丈夫と言われていますが心配です
・コロナ禍の不安がなくなれば
・この様なプロジェクトがあり、原発事故後 10 年が経つ今もなお、活動を続けて下さることはとても有難く思っています。自分が安心出来る所であり、心の支えとなって頂いています。
・いつか参加させたいです。
・コロナが拡大している時は動かないのが良いと思います
・1 回夏に参加しました。スタッフは PCR 検査を受けてくれました。参加者、ボランティアを減らし三密を避けてなら可能ではないだろうか。
・原発事故後 2014 年に祖父（脳梗塞）、2015 年に父（胃がん）、叔母 59 歳（胃がん）、で亡くしている。これも放射能が少しは関係あったと思います。祖母も原因不明の頭痛に悩まされています。
・イタリア体験をさせたかったのでコロナが恨めしい
・積極的に進めるべきではない
・今年度はどこの保養にも参加していません。もう少し状況が落ち着ければ対策をして参加可能と思います。
・コロナ渦の中保養を開催して下さり万が一感染者がでてその保養自体がなくなってしまうのが恐いです。参加する側の対策や責任もある。
・参加させて頂きましたが大変良い経験になりました。次男三男も機会があれば参加させて頂きたいです。
・現在のコロナウイルス流行を考えると福島県から出られない
・子どもがいないのでわからない
・コロナで保養自体が中止になっているのでコロナ対策をしたうえで保養を続けてもらえると嬉しいです

・私はたらちねで甲状腺の検査をして頂いて腫瘍があるのが分かりました。現在は年に 2 回検査をして様子をみています。少しずつ大きくなっている様です。
・今は行かなくてもよい。保養は急務ではないがコロナは進行中であり、色々な対策により子ども達がのびのびできない
・国や県の対応が雑だと思う
・今までの保養プラン実施に感謝します
・感染拡大を防ぐために治療薬が出来るまでは参加できません
・コロナで保養に参加出来ないので体内被曝が心配
・当事者たちも重なる災害、震災により風化してきている。現状を真実を知ることのできるきっかけが欲しい。TV は「もう 10 年だし大丈夫」とか、真実を言うと「風評になる」でおさえこまれて間違った認識がひろまる

【関東】
・コロナ感染の畏れから実行を断念している。昨年まで実施していた保養プロジェクトをどのようにしたら再開できるのか皆で考えているが、何か良い案や福島の人たちのこちらへの希望を聞いてみたい
・ケアは身体はもちろんのこと心のケアも必要だと思います。成長するにつれて出てくる問題、差別に負けないように一人でかかえこまないように。結婚とか出産など。
・娘は原発事故の事をまだ知らないが、保養や自然体験を通じて実際に体験した親子と触れ合う事で何かを学び成長してくれる機会になるかもしれない
・検診と同様、国、県、東電が予算を出すべきです

【関東】つづき
・特に事故後数年は保養の必要性を感じていたが、仕事もあり、かなわなかった。また、子供が就学前だったため子供だけで参加させることも難しかった。事故の 4 年後から毎年民間の甲状腺検査を受診して経過を見ているので現在はそれほど必要性を感じていない。
・経済を回すことよりコロナ退治に全力を傾けてほしい
・現住まいの環境では保養の必要を感じないので利用はしないと思う。が必ず必要としている方がいると思うのでコロナ禍であっても続けてほしい。
・私自身や私の子ども、孫は東京にいるので切実な保養の必要は感じていませんが、保養させるとしたらとしてお答えしました。(勝手に旅行はしています)
・多くの困難が重なり過ぎていると思いますが、中でも最悪なのが行政の悪化だと思います。特に安倍政府以後の対策はひとすぎると感じます
・地下水の研究者ですが、井戸水の網羅的、時系列的調査を行う考えはありますか
・コロナは感染症です。終息がある程度予測されます。放射能は永遠です。精神的な事なら理解を深め、環境に馴らすことも必要です。実際にメキシコあたりの放射能はかなり高いレベルのところもあります
・今現在は夫婦 2 人だが、長女夫婦、長男夫婦の孫達が心配である
・子供はいないので、いたらという前提で回答しました。子どもが苦労する事が一番かわいそうだと思います。息抜きの為にものびのびすごせる場所も必要だと思います
・このアンケートは東京に住む者(被曝しなかった者)に対するものではないので解答はむずかしいです。非被曝者として応援を少しでもしたいとは思っております。
・コロナの恐怖はワクチンを売る為の政府の策略です。コロナよりガンの方や放射能の方がずっと心配です。できれば福島の子ども達の為に毎月 2000 円位なら寄付したいです。
・自分は遠くの人間と感じていて福島の現実を余りにも知らないと思う
・3.11 を忘れずに子どもの未来のために少しでも協力します。
・継続していくのはご苦労もあるかと思いますが少しでもお手伝いできる事があればと思いクラウドファンディング等を通じて寄付を続けていきたいと思います
・受け入れる側だと思っているので(質問)29〜35 はよくわかりません
・アンケートの難しさ！　出来る範囲での記入になりました
・保養キャンプを実施する側です
・沖縄でも地所によっては放射線量が高い場所があります。北海道でもそうです。私は家庭の中を外気処理した空気を取り入れるという事が大事だと考えます　　原発事故の影響がどうかわかりませんがガンになる人が増えているような気がします。
・なるべく線量の低い県や西日本の自然の豊かな地域が良いと思いますが回数多く生きやすい近場の保養可能なところもあった方がたくさんに人に利用してもらえると思います
・万が一感染した場合被曝してるとなお一層重篤な病状になるのではと心配。しかしながら保養も必要だと感じる
・原発処理汚染水を他に方法がないという理由で海に流すのはおかしい。地球を汚している
・人が集まるのが難しい子どももユーチューブをよくみるので「たらちね」が子どもでもわかるユーチューブを作ってほしい
・保養や体験があるのを知りませんでした。もっと広く告知して欲しい。それと、子供たちの自覚も大切なので正しい知識をもつ学習も兼ねて体験活動にしてほしい
・本件アンケート自体福島以外の人々の意識集約には向いている。従って有意の統計が取れるとは思わない
・保養の効果（体内の放射性物質を減らす）が分かっているのに公的に行なわれていないのはおかしい。事故後 10 年を前にして政府に期待すら持てないのが悲しいです。そんな中で保養活動を続けておられる方々に感謝しています。

【関東】つづき
・必要な金額が出てプランを出して頂けたらさらなる寄付も考えます。
・神奈川に住んでいるからあまり感じる事がないが 60 歳だから小さい子どもは必要です・充分にリスクを回避して行うメリットは保養しないデメリットより大きいと思う
・自分たちより被災地より放射腺量の多い地域の人たちを支援したい
・医療における放射線利用についてどのような評価をしているか聞いてみたい
・現在自分の子どもは成人した。今後の活動は正しい知識と心の平静を保てる保養と訓練の目的がいいと思う
・コロナは気にしていない
・お子さんにとって良いことはすべて行うことがいいと思います
・家族で血液検査をした。理由は岡山にある三田医院の先生が好中球の数が減っている子どもが多いと言っていたからです。実際受けてみたら本当に低かったので放射能の影響だと考えています。
・どのくらい被曝しているかわからないので当分続けて行くといい
・子どもはもう大きいので参加することはないと思う
・放射能もコロナウイルスも検査をしなければ存在をつかめないので「知らぬが仏」にならないように積極的にチェックすることが必要だと思います
・今は成人なので回答は想定的です
・原子爆弾を落とされ人体実験。3・11 に放射能まかれて人体実験。2020 年コロナウイルスをばらまかれ人体実験。
・詳しいアンケートでより広く深く身体的環境変化のデータが集まりますね。ご多忙なのにこのような取り組みに感激しています。くれぐれもコロナに負けずお元気でご活躍下さいますようお祈りしております。
・福島第一事故の風化が進んでいるのが心配でなりません。又チェルノブイリ事故から政治がなにも学んでいないのも不安です。(宮城できのこから高濃度の放射能が出たとか)　　離れており実感はなかなか難しいけれど自分がそこで子育てをしていたらと思うとたまらない気持ちになります。政府、行政は現実を客観的に捉え対応して欲しいです。でも今は貴法人を応援します。よろしくお願いします
・高学年になると参加が少なくなると聞いたことがあるが優先度を上げて参加して欲しいと思う
・神奈川は離れているので健康に影響はないが、福島は気になります
・事故が忘れ去られようとしている今、第二の福島が起きないか地震の度に思っています
・現在自分の子供は 2 人とも成人した。今後の活動は正しい知識の教育と心の平静を保てる保養と訓練の目的がいいと思う。
・職員に女性しかいないのですか？子どもたちの命と未来を守るため見守っていきたいです。今 75 歳なので死ぬまで続けたいと思います。
・たらちねに少しですが支援しているのでこのアンケートを送って頂いたと思います。事故当時関東地方のシュタイナー学校の生徒や親が西へ移住したことを聞いてます
・自分が保養に参加（させる）立場では考えませんでした
・屋外で遊んだり活動することは子どもにとっては非常に大切だと思う
・地元の市民活動「福島の子ども保養プロジェクト東大和」で星空キッズツアーin 清里に 4 年前くらいから参加している。今年もコロナ禍の中でしたが私は待機組でした。報告書同封
・子どもがいないのでよくわかりませんが、子どもたちがやりたいこと正しい事をするのが良いと思います。
・全ての子ども達が平等に参加できることを望みます
・電気があるのが当たり前と考えて 70 年、原発により色々考えさせられ福島の人々に心痛めています。出来る限り協力したいと思っています

【関東】つづき
・応援しています。私はたまたま影響の少ない所にいますが、情報の政府による隠しっぷり（民主党、自民党問わず）にあらゆる問題について疑心暗鬼になっています。コロナも科学的な事実を知って適切な行動をしたいだけなんですが…。
・保養に参加させたいと思っても障害がある子どもたちは受け入れてもらえない場合が多いと思います。できれば障害がある子どもとその兄弟姉妹のみ参加できるプログラムがあるといいと思います
・現在コロナウイルスで全世界が非常事態の中にありますが、個人的には那須塩原にいる限り 2011 年の時の方が対策しようもなく外にも出られず、本当に生活が厳しかったので、今、その感覚があって耐えられているのだと思います。
・1 ページ目のセシウムベクレル数値の低い場での保養や体験。
・子どもが 10 年前福島で働いていたこともあり特に関心が向かった。現在母子とも健康に過ごしているので安心している。
・できれば放射線量の少ないところが良いのだろうが、日本のどこでも少しはあるのかもしれない。となれば近いところで線量の少ないところに回数多く費用の軽減をはかっていくのも良いのでは
・川崎ではこの時期休止しています
・311 のことが 10 年経過し国策が相変わらずクリーンなエネルギーとして出す炭素エコと言う作られたイメージが国民の中に浸透していることに危機感を持っています。さらにどうせ廃炉に 25 年もかかるならその間に原発を使えという指示発想がまかり通って他人事になってしまっていることを危惧する。
・いつもありがとうございます。私は一人暮らしですが、お子さんのいる方はたらちねの存在に助けられているでしょう。コロナ渦の中どうぞ皆様もご自愛ください
・こういうこと(データを取り、記録に残すこと)は大事だと考えます。応援してます。
・日本全体が忘れようと意図的かどうかは分かりませんが、しています。ほぼ永遠に消え去らない放射能汚染なのに。また原発再稼働を容認する立地地区を放置して、他の生活の手段を手当てしなかった行政、それをまとめる国は一体何をしてきたのだ。日本人の我慢強さにも呆れます
・原発を抱えている限りは起こりうる事故。今回の事故のフォローをすることで初期対応の大切さを忘れないようにしたい

【中部】
・名古屋在住で当事者意識があまりありません
・あのとき孫と 2 人で、座敷で体がゆれていました。実際に災害に遭われた方の思いはどんなか私に出来る限りの事をこれからも協力させて頂きます。以前日経新聞に全国の放射線量が表として出ていましたが、ある時ふとなくなってしまいました。政府の圧力か新聞社自身か私はとても残念でした。
・今後たらちねの皆様の活動をささやかでも応援したいです
・福島は何度か訪れたことがあり、好きな場所です
・現地の大変さがよく分かりびっくりしています。がんばってください
・子どもの時期の体験はその人にとって重要なのでなるべくさせたい。自分は子どもなしだがボランティアなど子どもたちと会っています。
・小さい子どもは我家にはおりませんが、もしいたらと考えました
・表紙の日本地図のような一目でわかる分布図、近年のものが見たい。日本独自で調べていないのだろうか
・私は富士山のすぐ近くで生活しておりますが、表紙のセシウム分布図を見ると、富士山の所かな？　山梨県の一部が大変高くなっていますね。自然豊かな所ですから自然体験に良いかと思っていましたが、これを見たら考えてしまいました。
・福島や高線量が検出される地域にお住いのお子さん、ご家族の保養は国にやってもらいたいくらいです。
・地元の皆様の悲しみを少しでもいやせれば

【中部】つづき
・コロナは気にしなくて良い
・保養受け入れ側の団体に協力している立場で回答させていただきました

【近畿】
・金銭的な問題(スタッフ・保養)もあると思うが、できれば希望者全員がごく低料金で参加できるを希望。全国的にカンパを募ることに広報周知にも要るのはお金かね…
・やってしまったことは仕方ないが、ケアだけは日本国民として参加する
・2011、NHK で安斎果樹園を知り毎年おいしい果物を送って頂いています。エルコープで子どもの保養の呼びかけが有り応援しています。遠くから応援しているという形で申し訳ないです
・100 種ほどの放射性物質が出ているのに報道されない

【中国・四国】
・政府は真実を隠していると思う。広島で原爆を受けた人たちと同じ目にあってほしくない。
・徳島県海陽町は現在コロナの影響はなく自然の中で安心して過ごせる施設もある
・コロナ禍の中であっても防護対策をしていればあまり心配はないと思う
・最近は自主避難の話を聞かなくなりました。孤立感が心配です
・子供の保養については、国にその政策を取り入れるよう求めたい。少しでも良い成果が望めそうな環境に子供たちをおくべきこと、それが国の責任では

【九州】
・保養より留学の方がベストと思っています。保養先は原発から遠いところがよいけど、日本はほとんどすべて近くにあるから厳しいです。
・あまり気にしない
・子どもがいないので実感がない
・私は九州に住んでいるので、福島の現状を TV やラジオなどで伝えきくだけですが、原発の事故からかなり時間が経っているのにまだまだ支援が必要な状況にあるということを認識する方が少なくなっていると感じます。支えたい気持ちを風化させたくないと思います。皆さん大変だと思いますががんばってください！！
・遠隔地のため、適当なことが書けません
・コロナ、コロナで原発事故のことが忘れられている気がする。放射能とコロナの 2 重の被害、精神は苦痛をすべての国民が共有すること
・公的機関の参加
・表紙の汚染マップを見て愕然としています。全国に散在する原発に恐怖も感じます。そのように思いつつも電気に頼る生活、処理場のない核廃棄物、子孫に対し余りにも大きな負の遺産を残してしまった
・福島県からの保養受入の訪問を確保し、交通費の負担もと思い、そちらの方にも登録しましたが、ある一人の福島県内の女性の様子から、もう直接福島からというのは不可能なのではと感じています。そちら県内の状況を是非知りたいところです

【福島→県外】
・我が家は保養は必要性を感じないが、必要のある子ども、親の要望はあると思われる（その視点で答えました）
・「無料」に慣れてしまうことの弊害
・支援する側とされる側の温度差を感じます

【海外→県外】
・不育症で漢方医にかかっておりますが、「元気な子が生まれて来ない場合が原発事故後に増えている」と感じておられました。日本の子ども達皆が元気でいられますように！

【地域不明】
・移住が最優先と思う！